岡山空港

【実施主体:個社】

岡山空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先との契約金額に値上げを反映し実施済み。(継続)	
		外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
		総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。R7年度契約料の引き上げを実施するとともに処遇改善状況を確認。	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。(継続)	
		外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項やキャンセル料条項の導入を検討・実施中。	
		検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。検査場のレーン数に応じ総括責任者の配置も支払い対象化。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	休憩スペースの増床・リニューアル	復便、増便に伴う社員増に対応すべく、オフィススペースを増床。あわせて、職場環境の改善を図るため、改修を実施。社員エンゲージメントの向上、採用競争力の強化、コミュニケーションの活性化を図る。	グラハン用休憩室・男女更衣室の拡張・確保をFY25に計画
		職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	職員数や労働時間の定点的な情報収集	委託先社員の負担を含め、定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。負担の集中が見られる場合には適切な対応を図っている。(継続)	
		生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	正社員領域、派遣領域の見直し	復便、増便に伴う社員負担の軽減のため、採用を強化するとともに、正社員領域の見直しを実施。(継続)	IT便のCHK-IN・運送業務に加え、ラウンジのバントリー業務、手荷物引き渡し所、保安検査場前の業務の旅客担当以外の社員での実施を検討

【実施主体:個社】

岡山空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	入社準備金の新設	新規採用者の入社時の移転費用の負担軽減を目的として、入社準備金を支給する制度を新設した。	
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)	ANA/JALランプ作業資格の相互承認	1社でANA/JAL双方をハンドリングしている10空港を対象に、作業資格の相互認証ならびに同種教育(航空保安・飲酒対策・落下物防止対策)の共通化施策を検討中。 相互承認を行う対象資格を7つ(TT,BL,PBB,MAS,WW,PK,PB)に絞り、具体的な承認フローを検討中。1月30日～2月2日に対象10空港への説明会を実施し、意見を集約。R6年4月から運用開始。R6年12月にJAC、HACとの相互承認拡充。R7年4月からの対象資格の更なる拡充を検討中。	① 訓練時間の削減:各資格に対する座学時間および実技時間が削減できる。(インストラクター、訓練生ともに) ② 訓練期間の短縮:P/Bは実技訓練機会が限られるため訓練期間が現状1年程度かかるが、大幅に短縮できる。
		同業他社との教育課程の調整	ランプ領域では地方空港における両社共通の委託先のグラハン作業資格・教育の相互承認、作業手順の共通化について議論を進め、車両操作資格については2024年4月より、可能なものから相互承認を実施。	今後は旅客領域にも展開予定。
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港からの応援者を派遣することでリソース不足を解消。(継続)	9月以降、HND/NRTから旅客担当応援者を受け入れ
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備			
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	カスタマーハラスメント対策の推進	ANAグループとJALグループ共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
		施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。IT環境の整備、暑さ対策等を順次実施。	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体:個社】

岡山空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	自治体や空港ビルとの連携	保安検査、給油、CIQなどの当社受託領域以外の調整状況についても必要に応じ確認しつつ受託準備を実施。	
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し 等)	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	
	個別取組事項	GSE車両の共用化の推進	プッシュバックタグ車のANA/JAL共用化検証に向けて調整中。R7年度より実施予定。	

【実施主体:空港会社等】

岡山空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善			
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同ツ説明会 等)			
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進			
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等)			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体:地方自治体】

岡山空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化(人人体制等の正確な現状把握 等)	グラハン会社等へのヒアリング・意見交換等の実施	グラハン会社、検査会社の人材確保の状況を聴取するとともに、今後の取組等について意見交換を実施。また、労働担当部局が実施する施策を紹介。	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施	労働担当部局との連携・意見交換	空港業務を担う事業者の状況を共有。労働担当部局が実施する施策の説明を聴取。	
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施	空港業務支援の検討	空港業務を担う事業者の状況を観光担当部局と共有するとともに、空港業務支援も誘致支援の一部として支援を検討。	
【短期】	空港WGの活用推進	連絡協議会(空港WG)を活用した国際線受入に係る課題や情報の共有	国際線受入に係る課題や情報の共有を実施(中間とりまとめ以前から実施)。国の補助金(地方空港等受入環境整備事業費補助金)等の周知にも活用。	
【短期】	個別取組事項	人材確保に関する情報の発信	空港業務の事業者の求人情報を空港のホームページに掲載。	
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等)	空港業務人材確保支援事業(補助事業)の実施	空港業務(グランドハンドリング・保安検査)の事業者が行う人材確保の取組に要する経費への支援を実施	
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備	関係部局との緊密な連携	外国人との共生社会の実現に向けた環境整備等を進めるため、外国人材の受入れ・共生に関する庁内連絡会議を実施している。	
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)	観光部局との緊密な連携	新規路線の就航に向け、観光部門と連携してトッププロモーション等の誘致活動を展開	
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実	空港業務人材確保支援事業(補助事業)の実施	空港業務(グランドハンドリング・保安検査)の事業者が行う人材確保等の取組に要する経費への支援を実施	